

心臓血管外科学

松宮 護郎

平成21年10月1日付をもちまして，千葉大学大学院医学研究院心臓血管外科学教室が開講いたしました。長い伝統を誇る千葉大学医学部において現時点で最も若い教室であります。

本学ではこれまで第一外科（臓器制御外科）において心臓血管外科の診療，研究が行なわれてまいりました。第一外科における心臓血管外科の歴史，業績はその項に記されていると思いますのでここでは詳しくは述べませんが，特に先代の中島伸之教授は心臓血管外科を専門とされ多くの業績をあげられました。このたび，その伝統を継ぎつつ，本分野の一層の充実をはかるために新しく心臓血管外科学教室が開設されました。開設後半年での現時点のメンバーは私のほかに，講師 石坂透，助教 黄野皓木，石田敬一（医局長），医員 勝股正義，丸山拓人，樫沢政司の計7人と少数ですが精鋭揃いであり，精力的に診療，研究を始めております。次の記念誌の発行時には医局員数がどこまで増えるか楽しみにしております。

近年，生活様式の欧米化に伴い心血管疾患罹患率は増加しております。心臓血管外科手術も増加傾向にあり，日本胸部外科学会のデータによりますと過去15年で心臓大血管外科手術数は倍増しており，ますますその重要性をまじつつあります。一方，多くの一般病院でも心臓血管外科手術は行われており，大学における心臓血管外科教室の意義はおのずとそれらの病院とは違ったところにあることは言うまでもないことと思います。それらは教育，高度医療の実践，新しい治療法の研究開発にあると考えます。

心臓血管外科はその専門医制度が社会からも注目され，若手医師の手術経験がますます重要視されてきております。これまでのような「見て盗め」では通用しなくなってきており，積極的に執刀の機会を与え，手術室，ベットのサイドでの教育を重視し，多くの心臓血管外科を志す医師が入ってきてくれるような魅力ある教室を作っていきたいと考えています。心臓血管外科手術成績には，外科の技術のみでなく，麻酔，循環器内科，集中治療，消化器，代謝内分泌，血液，感染などあらゆる臨床医学分野の総合力が効いてくるもので，特に重症例になればなるほどその傾向が強くなります。したがって大学病院でこそ，高度の技術を要する手術はもちろんのこと重症の心不全やその他の臓器不全を伴った症例などを積極的に治療していくことが可能であり，またその責務があると考えます。心臓血管外科手術の技術開発は日進月歩であり，単にメスで切るだけではなく，人工臓器や再生医療の応用，工学分野との協力による機器開発などもますます重要になってきており，我々もその一端を担い新しい治療法を世界に発信していきたいと考えております。

診療，教育，研究のバランスのとれた教室運営を常に心がけ，優れた臨床技術のみならず，研究能力も兼ね備えた academic surgeon を育成することを目標にし，千葉大学心臓血管外科学発展のため最大限の努力をしてみたいと考えております。諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（まつみや ごろう）



後列左から 勝股 黄野 樫沢 松宮 丸山
前列左から 石坂 石田